

予 算 要 求 資 料

令和4年度9月補正予算

支出科目 款：農林水産費 項：林業費 目：森林整備費

事業名 環境保全林整備事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 森林経営課 整備係 電話番号：058-272-1111(内3195)

E-mail：c11515@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 156,859 千円 (現計予算額： 330,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	330,000	0	0	0	0	0	330,000	0	0
補 正 要求額	156,859	0	0	0	0	0	156,859	0	0
決定額	156,859	0	0	0	0	0	156,859	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

- 平成24年度から、森林所有者による森林整備の実施が困難な水源地域や渓流域、急傾斜地等の森林（環境保全林）における公益的機能の維持向上のため、市町村や各種団体が行う間伐等に対して支援を行う（水源涵養林等整備）
- 環境保全林内の人の生活圏に近い里山林エリアにおいて、公益的機能向上とあわせて地域住民の生活環境の保全のため、不要木除去や放置竹林の整備等に対して支援を行う（生活環境林等整備）
- 間伐による水源涵養機能の向上を説明する客観的なデータ収集のため、モデル的に効果調査を行い、間伐の必要性への理解を得る。

(2) 事業内容

【水源涵養林等整備（補助金）】

環境保全林における水源涵養機能維持増進森林、山地災害防止森林及び木材生産が不利な立地条件の森林で行う次の施業へ補助を行う。

除伐、間伐（搬出なし）、更新伐（搬出なし）

【生活保全林等整備（補助金）】

環境保全林における快適環境機能維持増進森林、保健文化機能維持増進森林、生活保全林で行う次の施業へ補助を行う。

不要木撤去（除伐、間伐）、修景保全（下刈り）、放置竹林整備、病虫害防駆除（被害木処理、薬剤処理等）

【水源林効果検証モデル事業】

県有林において間伐をモデル的に実施し、水源涵養機能に及ぼす効果等を調査する。

（3）県負担・補助率の考え方

補助率：10/10以内

上 限：県の定める単価に事業量を乗じた額

関連条件整備38千円/ha（水源涵養林等整備のみ）

（4）類似事業の有無

有 「森林整備事業費補助金」

持続可能な林業経営を目的とした森林経営計画に基づき森林整備を推進するためのものである。

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	156,859	間伐等の森林整備への助成
合計	156,859	

決定額の考え方

4 参考事項

（1）各種計画での位置づけ

第4期岐阜県森林づくり基本計画

1 災害に強い循環型の森林づくり

①激甚化する災害に備えた山地防災力の維持・強化

（2）国・他県の状況

森林環境税事業は岐阜県を含め現在37府県で導入している。

（3）後年度の財政負担

課税期間内に使途事業の達成状況や効果を検証し、継続等の見直しを行うこととしている。

（4）事業主体及びその妥当性

1) 事業主体

○補助金

市町村、森林組合等、森林整備法人、林業事業体、特定非営利活動法人等

○水源林効果検証モデル事業費

県（森林研究所）

2) 妥当性

公益的機能の維持向上のために森林の整備を行うものであり、要した経費の10/10相当を県が負担することは妥当。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	環境保全林整備事業費補助金
補助事業者 (団体)	市町村、森林組合等、森林整備法人、林業事業体、特定非営利活動法人等 (理由) 森林整備を実施する能力を有するため
補助事業の概要	(目的) 森林所有者の自助努力では適切な森林整備が期待されない森林について公益的機能の維持向上を図る。 (内容) 市町村森林整備計画で環境保全林に区分された森林等において森林整備を行う。
補助率・補助単価等	定額・定率・その他 (例：人件費相当額) (内容) 10/10以内 (理由) 公益的機能の維持のために森林所有者に代わって森林の整備を行うもの
補助効果	森林の公益的機能が維持、向上される。
終期の設定	終期 令和8年度 (理由) 清流の国ぎふ森林・環境基金事業の第3期の期間

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか
第4期岐阜県森林づくり基本計画に基づき、環境保全のための間伐等の森林整備を10,500ha実施する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R2)	R2年度実績	R3年度実績	R4年度目標	終期目標 (R8)	達成率
	①間伐等面積 (ha)	1,713	1,713	1,532	2,100	
②	/	/	/	/	/	/

補助金交付実績 (単位：千円)	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
	316,606	417,502	447,731	423,525

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・当初計画2,600haに対して1,713haを実施した。 ・23市町村で実施した。 ※水源環境林等整備対象内容の実績。生活保全林等整備は、令和4年度から対象となる。
	指標① 目標：2,600ha 実績：1,713ha 達成率：66 %
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・当初計画2,600haに対して1,532haを実施した。 ・23市町村で実施した。 ※水源環境林等整備対象内容の実績。生活保全林等整備は、令和4年度から対象となる。
	指標① 目標：2,600ha 実績：1,532ha 達成率：59 %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 2	国庫補助を活用した集約化施業による整備が困難な森林の水源涵養機能や山地災害防止機能等の森林の公益的機能の維持増進を図るためには不可欠な事業である。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価) 1	目標面積2,600haに対して、約59%の1,532haの実績であった。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	降水量が少なく、また労働力に余力がみられる年度末から年度初めの期間に事業を実施できるよう、平成30年度から事業の年度繰越を開始しており、事業の効率化が図られている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 目標の達成に向け、市町村のゾーニングの支援や、事業の効果検証を実施し、県民に分かりやすく伝える等により事業のPRも図っていく必要がある。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 事業評価審議会からは、本事業について引き続き推進すべきであるとの意見をいただいている。 目標の達成に向け、市町村のゾーニングの支援や、事業の効果検証を実施し、県民に分かりやすく伝える等により事業のPRも図っていく。
--